

～中学生と一緒に考える男女共同参画～

『ふれあい出前講座』を実施しました

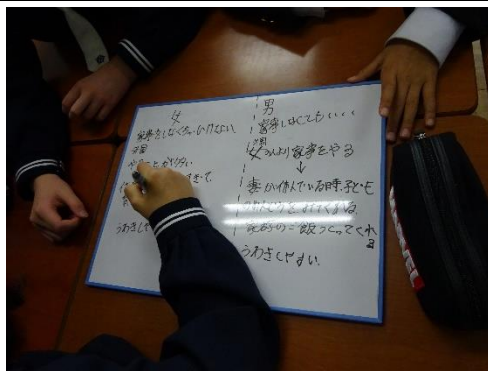
本市では、市民団体「ファシリテーターズ藤枝」との協働により、中学生と一緒に男女共同参画社会を考える「ふれあい出前講座」を平成21年より実施しています。

11年目となる本年度も、青島北中学校の1年生を対象に授業を実施しました。



①男子と女子どっちが得？

家庭、学校、社会において男子と女子どっちが得か意見を出し合いました。男子、女子のお互いに羨ましいと思う意見や、尊敬するという意見など様々な意見が出ました。



②グループで話し合い ⇒ 発表

なぜ、女性の議員や経営者が少ないのかグループで話し合い、グループの代表者が全体に発表し、クラス全員で意見を共有しました。



③ファシリテーターのまとめ

生徒から出された意見や、現在の日本の置かれている状況から、一人ひとりの人権が尊重され、男女が対等に活躍できる「男女共同参画社会」の意味や意義、重要性を講師が説明しました。

この講座は、心の柔らかな中学生に「男女の人権が等しく尊重される社会」を目指す考え方や、人として幸せに生きるためには何が必要かを考えてもらう「きっかけ」作りを目的とし、自分を認め、他人を受け入れるという基本的な生き方の意味を伝えています。

また、グループ討論することで、自ら意見を出し、相手の意見を尊重し、自分の意見を認めてもらうことの喜びを感じ、誰もが自分らしく生きるためには何が必要かを考え、男女共同参画の意義について気付いてもらうものです。